

## 学校法人 KTC 学園

## 屋久島おおぞら高等学校 学校評価

## 教育目標

- ・ホリスティック教育の先駆者として、屋久島だからできるスクーリングの実施
- ・グローバル（世界基準）教育を意識した生徒の興味・関心を引き出すスクーリングの実施

## 重点目標

- ・教職員のスキルの向上を目指し、生徒が安全に、安心して学校生活を送れるように努める
- ・生徒が学習や体験を通して、自立していく支援に努める

## 分野領域

	目標	方策	自己点検評価	自己評価
学 務 部	校務分掌等の課題を確認し、その解決を図る	電話、FAX、メール、Webカメラ等、課題に対して効果的な手段を用いて、解決に向けて調整を図る。	勤務体系の異なる校務分掌等との連携において、課題抽出、改善策の検討、実施へ向けての対応に時間を要した。	C
教 務 部	校内研修の充実	2か月に1度の教職員研修の実施 必要に応じて研修の実施	外部講師による2か月に1度の教職員研修を実施することが出来た。 一方で、その他の研修については計画するも、実施に至らないものもあった。	B
進路指導部	進路情報や資料の収集と適切な提供および計画的な活用	6月・8月に進路希望調査（一斉）の実施 進路情報の発信 月に1回、進路進歩情報の更新と確認 2年次へ進路に関する意識づけ	最初の進路希望調査を6月としましたが、5月中には最初の調査を行った方が良いと思われる。その為にも、来年度は年度初めの担任挨拶の連絡入れの段階で、卒業予定者には希望進路をとると効率的です。 進路の教材を2年次生に行うことで進路に対する意識づけをすることが出来た。	B
生活指導部	規範づくり	あいさつを徹底する為に、教職員から意識づけを行う。 ごみの分別を徹底させ、環境にも意識を向けさせる。	生徒の模範となるよう教職員から率先してあいさつをするように意識した。 環境保全を意識させるとともに、ごみの分別を習慣化させた。	A
学 寮 部	校内美化	常に清潔な状態に保つ為、日頃から常に点検を行い、補修等は迅速に行う。	校内美化への取り組みについて、教職員、生徒が一緒になって取り組むことが出来た。 掲示物についてルールにあいまいな部分があった。	B
事 務 部	普通救急救命講習を全教職員に受講させる	全教職員に受講させられるように、地元の消防署と連携を取る。	全教職員に普通救急救命講習を受講させることができ、緊急時にあわてず対応が出来るような環境整備を整えた。	A

評価基準 A：達成 B：概ね達成 C：やや不十分 D：不十分